

枚方たんぽぽ保育園

枚方市中宮北町10-14

定員90名 一時預り事業 体調不良型対応病児保育事業

2018年度の報告

《年間委託児数（月初入所児数）》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	《その他年間利用数》
0歳児	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	12	137	延長保育(トトロくみ)利用数
1歳児	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	204	1524名
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216	一時預り利用数
3歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228	2772名
4歳児	19	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21	246	病児保育利用数
5歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	20	251	225名
計	104	105	105	106	107	108	108	108	108	108	108	107	1282	
充足率													119	



《子どもの安全・命を守るとりくみ》

2018年度は大型地震や台風等の災害が相次ぎ、改めて子どもの命を預かる責任の重さを痛感し、日ごろからの防災意識と災害非常時の対応力の重要性から、マニュアルを見直しました。また、子どもの命を守ることを最優先に、行事のとりくみ方や内容について検討しました。

自動車での送迎家庭が7割を超えている現状の中、駐車場の待機車両の問題や、駐車場内から園までの道路の横断がたいへん危険であることから、朝・夕の見守りに警備員を配置しました。交通量の多い時など、事故の危険性をすいぶん回避できるようになりましたが、今後も保護者への意識的な働きかけを続けて、交通事故を防ぐように気をつけていきます。

保育中のSIDS対策として、午睡チェックと、全職員に救命救急講習および毎月の救命訓練を行いました。いざというときの対応力を目標に、継続していきたいと思えます。

年間を通じてヒヤリハットとトラブルシートから学び合い、事故の再発防止に努めました。また利用者等から寄せられた意見や要望を職員間で共有し学び合い、苦情解決委員会に報告しました。



「にじっこ」2～5歳児の異年齢グループで散歩。
「大きいバツ見つけた!」「すていなー!」「見せて〜」

《子どもたちの育ちを保障するとりくみ》

2018年度は子どもたちの保育環境としての園庭整備工事を行う予定でしたが、災害の影響を受けて見送りました。2019年度は、子どもたちが存分に探索したり、身体をつかってしっかり遊べる園庭づくりにとりくんでいく予定です。

異年齢保育のとりくみとして、毎年5歳児の「ちびっこ先生」にとりくんでいますが、新たに毎月2～5歳児の小グループ保育「にじっこ」を始めました。異年齢集団の中で、子ども同士のかかわりの幅が広がり、年長児は自分の力を発揮できたり、年少児は大きい子への憧れの気持ちが育つなどの良さが感じられました。

《地域から頼りにされる保育園に》

「こぶたのいえ」を活用し、子育て支援活動のあり方を見直し、自由に遊びに来て交流できる「園庭開放・こぶたのいえ」と、少人数グループで1クール4回ずつの「なかよしサークル・こぶたっこ」を活動の中心にしました。赤ちゃんの参加が増えたり、参加者同士の交流が深まったり、保護者が主体性をもって一緒にとりくめるようになりました。

年度後半は一時預りの申し込みが急増し、利用者が増えました。状況に応じて保健センターや子ども総合センター等、他機関との連携をとりあいながら、保護者の不安に寄り添い支えられるよう、支援に努めました。

《職員の資質向上をめざして》

年間を通じて多くの外部研修に参加し、全職員を対象として法人研修を行うなど、学びの場の保障に努めました。年2回の総括会議では、毎回大学講師の先生に助言をいただきながら保育のふりかえりをしており職員の学びの場となっています。8月には大阪合研に職員と保護者とで実行委員会をつくってとりくみ、職員が要員として準備から当日までかわり、実践提案を行いました。全国の仲間と交流できたことは、職員の大きな力になりました。

《保護者ととともに》

子どもたちに良い文化を伝えたいという趣旨で、父母の会趣旨の人形劇の観劇会を行い、全園児が楽しく参加できました。プロの演出は見応えがあり、子どもたちは終始お話の世界に引き込まれていました。運動会等では全ての家庭が協力して下さっていますが、父母の会でアンケートを実施し、意見を集約して報告されるなど、改めて父母の思いにふれることができました。子どもを真ん中に、ともに保育を作っていく関係の大切さを感じました。



1000人の大合唱団。合研のオープニングでは、大阪の仲間たちとともに、おおぞっせんも舞台上におがりました。